



最初に…
モンドの浜で
出会った瞬間
から

オイラは
こいつの…

旅人の
非常食だった

は

は

わんわん

じわじわ

じわじわ

わんわん

は

わんわん

旅人

異世界からの
訪問者

見た目は
この世界の
人間と変わりない

だけど…

こいつらの
種族は
食事の代わりに

現地の
知的生命体
から

性エネルギーを
吸収して
生きている

そんな
だっぴんや
だっぴんや
だっぴんや…





最初は
何れの中
にたか
わかん
なかつ
たか

それは
熱くて

ドクドクと
脈打って

オイラの口内を
浸食するみたい
にうごめいて

旅人は
オイラの頭を
砂浜に打ちつけ

ひたすら
奥へと…



やめっ...!!

息が...!!

かば

かば

かば

かば

かば



ひと突き
されるたび

オイラの
頭のなか
にある何
かが
壊された
みたい
だ



頭のなか
が
まっしろ
になっ
て
オイラは
何も考
えられ
なく
なっ
た



何度も脳を
揺らされ
やがて…

旅人がどんどん
硬く大きくなって
いく…

…それは限界に
達して

オイのラッパで
口のロロが
ひらけてた

射精は一度では
終わらず…

…何度も…

…何度も…

自分の
所有物だと
宣言する
みたい

まるで
マーキング
するかの
ように

オイラの
体じゅうを

白く…
汚したんだ…



あ

ゴ

体

カ

ゴ

ゴ

ゴ

ゴ

ゴ

しゅわ

ゴ

ゴ



